

南昌だより

2019
No. 38
2019年10月1日発行



医療法人社団 帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人 敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き 地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2019
No. 38
Contents

- 2P…… 巻頭言
- 6P～8P … ケアセンター南昌
- 13P…… 若園荘
- 3P…… 職場紹介
- 9P…… 文化祭
- 14P…… 敬愛荘
- …… スタッフ紹介
- 10P…… 志和荘
- 15P…… 南昌病院
- 4P～5P … リハビリテーション その8
- 11P…… 悠和荘
- …… トピックス
- 5P…… トピックス
- 12P…… 恒和荘
- 16P…… 診療案内



医療法人社団 帰厚堂
<http://www.kikodo.or.jp/>

社会福祉法人 敬愛会
<http://www.shiwasou.jp/>



日本医療機能評価機構

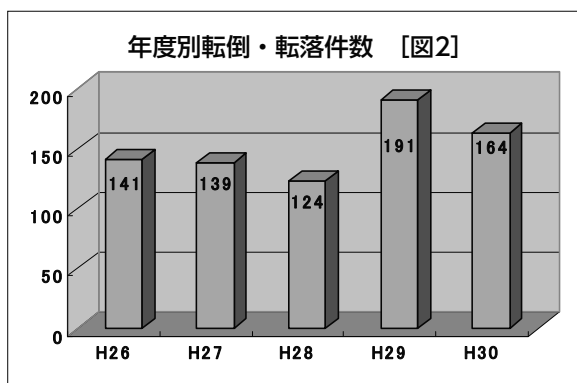
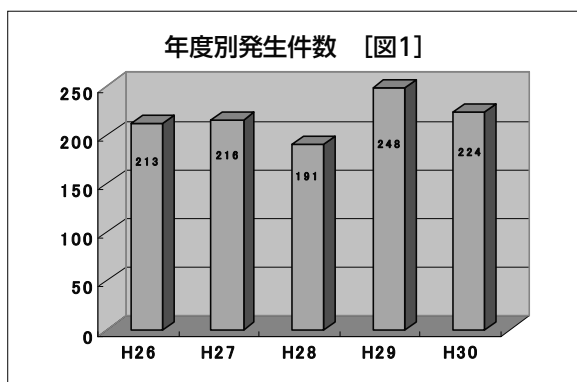
介護施設における リスクマネジャーの重要性

ケアセンター南昌 看護総師長 川戸 多喜子



近年、リスクマネジメントはあらゆるところで注目を浴び、組織の存続を左右する重要な取り組みとして位置づけられている。全老健ではリスクマネジメントを行う人材を養成するため2007年から「リスクマネジャー養成講座」を実施し、2018年7月現在、延べ1,195名のリスクマネジャーが誕生している。私自身リスクマネジャーとしてケアセンターの中でリスクマネジメントに関わり、業務上のさまざまなリスクに対する意識啓発を行ってきた。施設でのリスクは、転倒・転落などによる事故や施設内感染、苦情処理など非常に多岐にわたっており、組織として対応していく必要がある。施設は日常生活の場であり、どんなに注意していても防ぎきれない事故もあるが、どうすれば安全に配慮しつつ質の高いケアを提供できるかを考え、実践することが安全管理の原点である。

老健施設でのインシデント・アクシデントの発生は、転倒・転落、誤嚥・誤飲、誤薬、皮膚損傷の事故が多いと報告されている。ケアセンターの過去5年間のインシデント・アクシデント報告件数は図1のとおりである。発生件数で最も多い内容は、転倒・転落で、総件数の6～7割を占めている。(図2)



高齢者の転倒・転落の要因は、運動機能・感覚の低下や判断力、適応力の低下など内的な要因と環境・状況など外的な要因が考えられる。高齢者は自分の能力以上の行動をして事故発生につながることが多い。



防止策としては、

1. 利用者のリスクを知る。
2. 利用者家族へ事前にリスクの説明を行う。
3. 重大な事故の前兆を知る。
4. 生活の改修と日常的な管理。
5. 防止のための介助の実践をすること である。

また、感染症対策もリスクマネジメントの最重要事項である。特に施設の中でパンデミックが発生すると、利用者への生命のリスクはもちろんのこと、施設利用を中止せざるを得ないことにもなり、経営にも影響を及ぼすことになる。感染予防を行う上で大切なことは、「感染源を持ち込まない・広げない・持ち出さない」そして手洗いの励行、スタンダードプリコーションの励行であり、施設職員全員が正しい知識、技術を習得し、日頃から衛生意識を高めていくことが大切である。

リスク管理のABCとして全てに共通して言える事は、「A(あたりまえのことを)・B(び)っくりするくらい」・「C(ち)ゃんとやる」ことが大事なことであるが、職員全員が共通認識を持ち実践することの難しさを感じている。

リスクマネジャーに必要な視点は、

1. 利用者・家族の視点
2. 職員の視点
3. サービスの質の視点
4. 経営者の視点
5. コミュニケーションの視点

から対応する必要がある。

このようにリスクマネジメントは多岐にわたっている。施設内のリスクマネジメントを徹底し、サービスの質を向上させるためには、リスクマネジャー一人では限界がある。組織として役割を分担しつつ対応するためにも少しずつリスクマネジャーを増やしていかなければならないと考える。

職場紹介

「通い」「泊まり」「訪問」は、なじみのある職員が対応するので安心

＝ 小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘 ＝

「小規模多機能」って聞いたことがあるけど、実際にどんな所なのかよく分からないという声を多く聞きます。そこで初めに、小規模多機能型居宅介護事業所について説明いたします。通常の介護サービスは、通い（デイサービス）や泊まり（ショートステイ）、訪問（ヘルパー）はそれぞれ別々の事業所を利用することが多いと思いますが、小規模多機能は、1ヶ所の事業所で利用者のニーズに合わせて「通い」を中心として「泊まり」や「訪問」を組み合わせ、食事や入浴などの介護を受け、在宅での生活支援を行なうものです。「通い」「泊まり」「訪問」は共になじみのある職員が対応しますので安心です。送迎時間も本人・家族のニーズに合わせた対応が可能で、24時間365日の連絡体制で緊急時の対応や相談にも応じています。利用料金は月額定額制のため、介護保険利用限度額からはみ出す心配がありません。

次に当施設恒和荘を紹介します。登録定員は29名で、1日の通いが18名、宿泊は9名まで可能です。職員体制は看護師、介護支援専門員、介護福祉士等の専門職の他に、はりきゅうあん摩マッサージ師の資格を有した職員が、身体機能の維持、更に今より改善できるように、日常生活に密着した訓練やマッサージを実施しています。誰もが年をとっても介護が必要となっ

ても、住み慣れた住宅や地域の中で家族や親しい人達と共に、最後までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。そうした在宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族の願いに答えるために、「恒和荘」があります。

今年で恒和荘は開設して9年が経過しました。地域の方々やボランティアの皆様、利用者、家族に支えられ、毎月のお茶会、夏祭りや健寿を祝う会、お花見や紅葉狩り、地域の小中学生との交流も継続しています。今後も利用者、家族に寄り添いながら安心して暮らしていただけるように、相談に応じ、サービス調整等、関わっていきたくと考えています。「介護保険のことが分からないなあ」「少し話を聞いて欲しい」「手続きをどうしたら良いのかなあ」など、どんなことでも気軽にご相談ください。



スタッフ紹介

公認心理師になりました

南昌病院リハビリテーション科にて勤務している長谷川警二です。入社してから8年目になります。こずかた診療所にも月に数回、心理検査実施の為、兼務という形で何わせて貰っています。今回は紹介がてら私ども心理職の資格のお話をさせていただきます。

お気づきの方もいれば嬉しいのですが、現在、私は一応「公認心理師（臨床心理士）」という肩書きで仕事をさせてもらっております。昨年までは「臨床心理士」という名称で職務を行っておりました。今年度から名称が変更になった理由は、平成29年9月に日本で「公認心理師法」というものが制定され、心理職の国家資格として「公認心理師」という資格が出来、昨年度の第1回目の試験に合格し資格登録を行ったためです。つまり、心理職の立場は前年度までは国家資格としての役割は与えられていなかったのです。

そうはいつても現状では「公認心理師」になって以前と違うことはあまりありません。むしろ「公認心理師」と今まで使用していた「臨床心理士」の《師（士）》の字が違うため、各部署に混乱を招いているようで申し訳なく思っています。どちらの資格も私は有しているので、個人的には「公認心理師・臨床心理士」

という立ち位置が一番しっくりしています。

業務内容も今まで同様、認知機能検査をしたり、高次脳機能障害の方へのリハビリテーションを提供したり、カウンセリングを行ったりと従来通り働いております。予想になりますが、今後の医療報酬改訂の際に、公認心理師として算定できる部分が増加する、もしくは「臨床心理に携わるもの（技術者）」という文言が「公認心理師」に変更になるかと思うので、そういった流れで資格登録者が増加すると思っています。出来れば、もっと様々な部分で心理支援を必要とする方に上手く立ち回れるようになることが今後の課題と感じています。

あまり、真面目なことを書きすぎると、「真面目も休み休み。」と私の業界では言われることも多いので、その都度「休み」（最近、人に聞いた美味しいお店探索が癒やしの時間です。）も入れながら、精一杯仕事に努めていきたいと思っております。



南昌病院
リハビリテーション科
公認心理師
(臨床心理士)
長谷川警二

連載

「リハビリテーション」

その8



当院における自動車運転支援について

【はじめに】

最近、高齢者や様々な病気を持つ運転者による重大な交通事故が話題となり、その対策が急がれています。地方における自動車保有は一家に一台から1人一台が当たり前になり、自動車運転ができることは生活を営む上で重要な意味を持ちます。しかし、病気や怪我等何らかの理由により運転能力が著しく低下した場合には、その方の運転適性を評価し、運転の可否について慎重に検討していく必要があります。

そのような社会背景による自動車運転評価へのニーズが高まっている中、当院では平成31年3月に『リハビリテーション向け運転能力評価サポートシステム Honda セーフティナビ』を導入し運用を開始しております。

今回は当院が実施している自動車運転評価の実際についてご紹介し現状の課題と今後の見通しについてまとめてみたいと思います。

【シミュレーター機器について】

シミュレーター機器は、パソコンとモニター3面、ハンドル、アクセル、ブレーキが備わった物になります。これにより、自動車運転を想定した環境での評価が可能となりました。少し注意が必要なのは、ハンドルやアクセルが実寸大より小さめの設計の為、機器の使用においてはある程度の慣れが必要のようです。

シミュレーターは様々なデータを取ることもできるため、検査者による観察の他に実際の運転に必要な「認知」「判断」「操作」などの運転の状況をグラフや数値にして「見える化」することができます。それによって、検査後に運転のどの部分に課題を要するのかを明らかにする事ができます。

このような、シミュレーター機器を導入している施設は、岩手県内では当院を含め3施設にとどまっており未だ十分と言えないのが現状です。



【自動車運転評価の実際について】

実際の自動車運転評価ではシミュレーター機器による評価に加え、注意力の検査や標識の識別検査など各種机上検査を行います。その方の状況にもよりますが、検査は1回あたり約2時間で2～3日を要します。

実際にシミュレーターを使用した患者さんからは「運転のイ

メージができて良かった」「運転を通じて危険を感じる事ができた」などの感想が聞かれています。

【当院の実績について】

平成31年3月からシミュレーター機器の運用を開始し、これまでに入院患者4名、外来患者4名の計8名（男性7名、女性1名／平均年齢64.6歳）の自動車運転評価を行なっております。8名はいずれも脳血管疾患をお持ちの方でした。外来患者の中には急性期病院を退院後に自動車運転再開の為の評価依頼や退院後、あらためて運転に不安を感じて相談にいられた患者さんもいらっしゃいます。今後もこうした様々な相談、依頼が増える見込みであるため、当院でも脳損傷後等の自動車運転を支援する体制強化を整備していく方針です。

【自動車運転支援において医療機関ができることについて】

自動車運転の可否については医療機関で判断することはできません。最終的な判断はお住いの地域の公安委員会（運転免許センター）で行われる臨時適性検査で判定されます。医療機関ができることは、シミュレーター及び各種机上検査の評価結果を集約・整理し主治医の診断書を通じて、公安委員会に情報提供する事です。

【自動車運転支援の現状と今後の見通しについて】

今後の自動車運転支援の動向ですが、各教習所では実車評価についての依頼件数が年々増加傾向にあるといわれます。運転評価においては、シミュレーター機器や机上検査だけではどうしても予測・判断しかねる場合があり、その為、検査に加え教習所での実車評価を導入する医療機関が増えております。しかし、岩手県内では各教習所と医療機関との連携が未整備のところが多く、対応できる教習所も限られているのが現状です。また近年は、高齢者ドライバーの運転評価の対応の依頼増加に伴い、教習所内においても人員不足という課題を抱えている現状があるそうです。当院ではこのような事を踏まえつつ、まずは近郊の教習所との連携の可能性を模索し働きかけをしていきたいと考えております。



【おわりに】

岩手県は面積も広く市街地を一步離れば田園地帯や山間部に集落が点在する景色があちこちに見られます。そのような地域特性を考えると、自動車運転は生活に欠かせないものと言えます。核家族化が進んだ結果として、高齢夫婦世帯や独居世帯も増加していると言われる中、日常生活の足である車を運転し続けることができるかどうかは生活を大きく左右するものと思われます。そのための対策として公共交通機関の充実も挙げられますが、その担い手となる運転手も人手不足といった状況があるようで、生活を充足させるほどには至っていないのが現状です。

自動車運転は、ひとたび間違えると重大な事故を引き起こ

す危険性があり、そのような事態にならないよう、慎重かつ適正な自動車運転評価が必要となります。運転再開の検討ももちろんですが、それ以上にご本人の今後の人生全体を捉え、どうすることがご本人ご家族にとって一番良いか?それを踏まえた上で今後の自動車運転をどうすべきか?これからの生活と安全な暮らしに結びつく包括的な視点を持ちながら進めることが大切であると捉えております。

当院は、今後も自動車運転支援の環境をより一層整備しながら取り組んで参りたいと思います。自動車運転についてのご相談がある方は、当院の医療福祉科までお気軽にお問い合わせください。

文責 南昌病院 主任作業療法士 吉田雄吾

Topics

南昌病院グループ「矢巾町夏まつり」さんさ踊り出演 ～令和元年 商工会長賞受賞～

平成14年から毎年、帰厚堂・敬愛会の職員や家族、総勢100名程が参加しております。

本年も7月27日(土)午後6時30分から、矢巾ショッピングセンター前で開催され、太鼓・笛・踊りそして本部やスタッフとして、地域の方々と一緒に触れ合いを楽しみながら交流をして来ました。今後も更に地域との連携を深めて参加させていただきます。



スタッフの感想

円滑に進むように裏方としてお手伝いさせていただきました。暑さを吹き飛ばし無事に楽しく参加出来た事が何より嬉しいです。友情出演の初代ミスさんの佐々木秀子様、家族、職員の皆様お疲れ様でした。(小林、阿部)

参加者の感想

- ◎岩手に来て初めてさんさ踊りに参加しました。来年は笛に挑戦します。(山内)
- ◎迫力ある太鼓で踊るのは達成感で楽しかった。来年も踊りたいです。(本館)



【参加団体PRコメント】

私たちは、南昌・福祉の里から参加させていただきました南昌病院グループです。

日々、「愛と誠の精神」で、地域の方々から信頼され安心していただけるように、すべての人に感謝の気持ちをもって奉仕をさせていただいております。

勤務等の都合により十分な練習ではございませんが、今日は矢巾町の花「ユリの花」をモチーフにした浴衣で「笑顔と熱いパワー」で頑張ります。地域の皆さまと一緒に大輪の花となって踊りますので、温かいご声援を宜しくお願いします。(初参加の紹介文より)

【南昌病院グループ表彰歴】(平成16年以降表彰実施 ※H20雨天中止 ※H27夏まつり中止)

- 岩手中央農業協同組合長賞受賞 ～完全燃焼したで賞～ (H22、H24)
- 盛岡卸センター理事長賞受賞 ～信頼を築いたで賞～ (H16、H17、H25)
- 矢巾町建設業協議会長賞受賞 ～ごもつともで賞～ (H30)
- 矢巾町商工会長賞受賞 ～衣装が揃っているで賞～ (R1)
- DCMホームマック矢巾店長賞受賞 ～打てば響いたで賞～ (H19)



各施設から

ケアセンター南昌での主な取り組み (R1.7月～9月)

【トレーニングマシン紹介】(デイケア)

デイケアでは、計6台のトレーニングマシンを備えています。利用者は、担当リハビリ職員指導のもと、自分の身体に合わせたマシンを使用して、トレーニングを行っています。

適切な筋力トレーニングを行う事で筋力増強の効果が得られます。身体を支える抗重力筋※の筋力増強により姿勢保持能力の向上、転倒予防、移動能力の向上を図る事ができ、生活の質が向上します。

※抗重力筋とは…地球の重力に対して身体の姿勢を支える為に働く筋肉の事です。背中、腹部、お尻、太もも、ふくらはぎが前後に伸び縮みしながら重力に対しバランスを保っています。

マシンへの乗り降りが不安な場合は介護職員がお手伝いさせて頂いています。利用者のみなさん夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、マシンを使っての自主トレーニングに励んでいます。



①足踏み運動

介護改善、生活習慣病予防、自立促進、ステップ運動による持久力の養成



②腹筋・背筋

腹部・腰背部の筋力強化、筋持久力強化
筋力強化= 10回
筋持久力強化= 20回



③立ち座り・脚屈伸運動

脚・腰の筋力及び筋持久力トレーニング



④胸押し・ボート漕ぎ運動
胸、腕、背中の筋力強化・筋持久力強化



⑤開脚・閉脚運動

股関節の筋力強化



⑥膝伸ばし・膝曲げ運動
脚の筋力強化

【夕涼み会】(敬寿荘)

今年も毎年恒例の敬寿荘夕涼み会を開催いたしました。

お世話になっているボランティアさん・地域の方々をお招きし、日頃の感謝と、職員・利用者さんとの交流を目的に行なっています。

普段と違う雰囲気、ご飯も進み食べ過ぎる方も。

締めは、これまた恒例の輪踊りで、大盛り上がりうちに閉会となりました。

これからも敬寿荘は地域密着して、地域の皆さまと共に歩んでいきたいと思ひます。



【運動会】(こずかたこども園)

台風による天気心配をよそに、会場の西口公園は良い天気に恵まれました。

2～5歳児のオープニング「パプリカ」からスタートし、小さい組の子どもたちの親子競技では、会場中たくさんの笑顔があふれました。

また、大きい組の子どもたちの凛々しい姿や、頑張る姿には成長を感じるとともに、感動をたくさんもらいました。

金メダルをもらい、大喜びの子どもたちでした。



【カレークッキング】(こずかたこども園)

夏野菜がたくさん採れ、カレークッキングに挑戦しました。

3歳児はピーマンの種取り、4・5歳児は包丁を使い野菜を切りました。初めて包丁を持つ子どもたちも多く、慎重に切っていましたが、心強い矢町町更生保護女性の会の皆さんのお力をお借りして、おいしいカレーが出来ました。

2つの鍋が、あっという間に空っぽになり、心もお腹も大満足な一日でした。



【文化祭の作品作り】 (SSやはば)

10月12日はケアセンター南昌の文化祭です。文化祭に向けて、完成を楽しみにしながら、毎日作品作りに取り組んでいます！

折り紙をちぎる方、ちぎった紙を貼る方と、分担をしながら作業をしています。

みんなで熱心に取り組んだ作品を、是非文化祭でご覧になってください。



【社会復帰を目指して】 (博愛荘)



社会との関わりを続けるために

～大型ショッピングセンターでの買い物などの実施～

博愛荘では、平成30年度より利用者の社会参加やストレス発散の為に、利用者の要望に応じてバスハイクを企画し、職員と一緒に出かけられています。

実際に自宅で生活していたとしても、高齢になると社会参加は乏しくなります。買い物や、ちょっと遠くへドライブというような機会も減ります。

私達の施設は、利用者の社会復帰が目的となりますので、社会参加は重要なキーとなってきます。



今回は南イオンに出かけて、ご自分の趣味である縫い物の材料を買ったりしました。利用者からは、久々の買い物で「日ごろのストレスが発散できた」「普段いけないスーパーで食事出来るなんてうれしい」という話が聞かれました。

今後も利用者のニーズに添いながら、社会復帰を手助けする施設でありたいと思います。

【スマイルディメンシアやはば2019】 (DSつむぎ)

9月8日はやはば一くにて、矢巾町キャラバン・メイト連絡会主催“スマイルディメンシアやはば2019”が行われました。

9月は世界アルツハイマー月間ということで、矢巾町も認知症（ディメンシア）の正しい理解を広め、もし認知症になったとしても、笑顔で自分らしく暮らすことのできる地域づくりを目指しています。

オープニングセレモニーでは、キャラバン・メイトが「認知症とともに生きる希望宣言」をステージで読み上げました。

日本認知症本人ワーキンググループが活動の源に据えるこの宣言は、認知症になった本人の体験と意志をもとにまとめたもので、一足先に認知症になった方々から全ての人たちに向けられた素晴らしいメッセージとなっていました。

その後、矢巾町在住の認知症ご本人の方々に、ステージ発表が行われました。

デイサービスつむぎやグループホーム敬寿荘からも参加し、楽しいお話やアカペラの歌を披露しています。

家族や地域の方々が暖かく見守る中、時には笑いが起こる、ほのぼのとした発表会となりました。

午後の部では家族介護者、施設職員によるステージ発表に参加してきました。

つむぎは、本人に合わせたケアを基本に、出来ることはやってもらい役割をもらってもらうこと、好きなことや得意なことの話を引き出し、自信を取り戻してもらうこと、家族の心理的負担に対する支援など、ケアで心掛けていることを発表しました。



【RUN伴2019「チームやはば」から25人のランナーが参加!】

(矢巾町地域包括支援センター)

RUN伴(らんとも)とは、認知症の人や家族、支援者、地域の人が少しずつリレーをしながらタスキをつないでいくイベントです。RUN伴2019では北海道から沖縄・台湾までタスキがつながりました。

「チームやはば」は9月8日(日)に参加し、矢巾町内の区間約10kmを11事業所、25人(ケアセンター南昌から12人)のランナーが激走しました。折り返し地点の「やはばーく」にはたくさんの応援者がかけつけ、高橋矢巾町長から激励の言葉をいただきました。「チームやはば」は前走の盛岡チームの遅れを取り戻す素晴らしい走りを見せました。

認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるために、日本のすべての市町村にタスキがつながっていくことを願います。



やはばーくで高橋矢巾町長の激励を受ける



《RUN伴を終えての感想》

去年に続き2度目のRUN伴に参加させていただきました。今年は、チームやはばが担当する10kmを職場の仲間だけでなく、矢巾町内の事業所の方がたと一緒に走り交流させていただきました。

スタートの前に、吉田所長から「ゆっくりでもいいので笑顔で走ってください。」とお話がありました。私は、普段走り慣れていないとつらくて難しいんじゃないかと思っていましたが、どの方々も声援に手を振り笑顔で楽しそうに走っておりました。そんな中で笑顔の持つチカラを感じ、皆さんの笑顔が認知症の社会の支えになっているんだなと思いました。

ケアセンター南昌 山口 峻輔



10キロを完走したケアセンター南昌の山口峻輔さん(写真右端)

一人ひとりに合った支援 リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供!! (回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病床)

●南昌病院 ●敬愛荘 ●博愛荘 ●訪問リハビリテーションこずかた……

リハスタッフ総勢84名(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、(ほかに公認心理士(臨床心理士))

南昌福祉の里 文化祭

今年で17回目の文化祭開催となりました。利用者様の日頃の活動や作品などを展示し、ご家族や地域の方々との交流を深めます。利用者様の励みともなる文化祭です。

第17回 南昌福祉の里
4会場で同時開催
令和元年
10月12日(土) 10時～16時

文化祭

医療福祉多機能ビル ケアセンター南昌
矢中町又兵衛新田 第5地割335番地
電話 019-698-2015

テーマ 地域と共に令和発

作品展示 10:00～16:00
屋台・Cafeコーナー 11:00～14:00
バザーコーナー 11:00～14:00
健康・介護相談コーナー 10:00～16:00
福祉用具体験コーナー 10:00～16:00
キッズコーナー オープンスペース

【協力出展】 ①あさあけの園 ②アタージュ ③岩清水産直 ④藤戸

ステージ 10:30～14:30
【こずかたこども園】出演
【犬吠森念仏剣舞】様
【トレモロギターの会】様

特別養護老人ホーム 志和荘
矢中町広宮沢 第1地割100
電話 019-697-6355

テーマ 時代～つながり～

作品展示 10:00～16:00
食事・喫茶コーナー 11:30～15:00
あさあけの園 志和荘店 11:30～15:00
南昌産直コーナー 10:00～売り切れ次第終了
バザーコーナー 11:00～14:30
ゲームコーナー 11:00～15:00
外屋台コーナー 11:00～売り切れ次第終了
【協力出展】 ①矢中観光開発㈱ ②3ちゃん矢次工房 ③味の味橋屋

ステージ 10:15～11:00
泉ヒデ子様 歌謡ショー

介護老人福祉施設 悠和荘
矢中町広宮沢 第1地割2番312
電話 019-698-1661

テーマ 笑顔をつなぐ

作品展示 10:00～16:00
ゲームコーナー 10:00～15:30
喫茶コーナー 10:00～15:30
屋台コーナー 11:30～13:30

ステージ 14:30～15:00
「蒼前太鼓保存会御一行」様

介護老人保健施設 敬愛荘
矢中町広宮沢 第1地割2番181
電話 019-697-3288

テーマ いちごいちえ 一語一笑

作品展示 10:00～16:00
喫茶コーナー 10:00～14:30
屋台コーナー 11:30～14:00
表千家様によるお茶席 10:00～14:00
バザーコーナー 10:00～14:00

ステージ 15:00～16:00
三浦わたる様 歌謡ショー

○ケアセンター南昌

今回は、実行委員長がステージイベントで犬吠森念仏剣舞の一員として踊ることになっております。是非沢山の方に見ていただきたいのでご来場ください。また、色々なイベントを用意しておりますのでよろしくお願ひ致します。

○敬愛荘

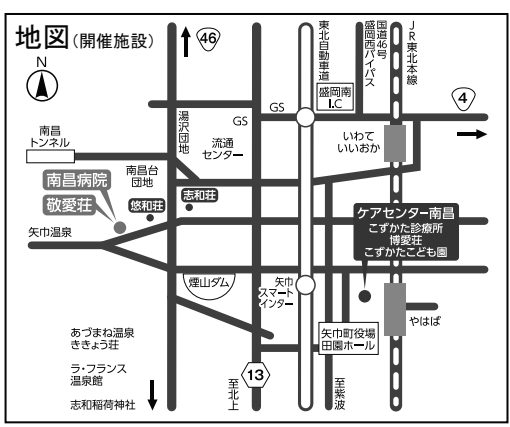
祭りの秋！今年も敬愛荘 文化祭の季節になりました！お茶席コーナー美味しい和菓子が出ます。そして…昔なつかし 駄菓子屋コーナーも開催！是非、遊びに来てください！

○志和荘

平成から令和に移り変わり、時代(世代)をつなげる。そして人と人、地域との関わりもつなげていけたらとの思いで『時代～つながり～』をテーマに文化祭を行います。外屋台や産直・バザーも開催します。ぜひお越しください。

○悠和荘

新しいユニットが増え、4ユニットとなりにぎやかに過ごしております。好評の焼き芋を今年もお振る舞い！是非お越し下さい。



※無料シャトルで文化祭巡りが楽しめます!!

| | | | | |
|---------------------------------|---|-----------------------------|---|----------|
| 【往路】(ケアセンター南昌→志和荘→悠和荘→南昌病院・敬愛荘) | | 【復路】(南昌病院・敬愛荘→悠和荘→ケアセンター南昌) | | |
| ケアセンター南昌 | → | 南昌病院・敬愛荘 | → | ケアセンター南昌 |
| 10時00分 | → | 10時15分 | → | 10時45分 |
| 12時45分 | → | 13時00分 | → | 13時30分 |
| 14時45分 | → | 15時00分 | → | 15時30分 |

志和荘

施設紹介

特別養護老人ホーム：常に介護が必要で自宅では介護ができない方が対象の施設です。

【橘若彦ショー】



7月4日(木)、橘若彦ショーを行ないました。毎年、歌や踊り・コントなど見ごたえ十分のショーを披露していただきます。若彦さんは羽織袴をキリリと着こなし、颯爽と舞い踊ります。かと思うと、ヨボヨボのおばあさんに扮して、しなびたおっぴいをペロ〜ンと出して赤ちゃんの人形の口に含ませて笑いを取ったりしていました。他の方の歌や踊りも見事で、感動したり笑ったりと盛り沢山のショーでした。追記…この日の『橘若彦ショー』は通算649回目の公演だったそうです。年間30公演行っているとの事でした！



【夏祭り】

7月19日(金)、夏祭りを行ないました。この日はあいにくの雨予報。今にも降り出しそうな曇天だったため、屋内での実施となりました。



今年も南昌育成会の子供さんや親御さんと、志和荘選抜さんさ隊〜華麗(間違っても“加齢”ではありません！)なる踊り手達〜によるさんさ踊りが祭りを盛り上げました。熱気ムンムンの中「サッコラ〜チョイワヤッセ〜」の掛け声と太鼓の音が響き渡っていました。来年の夏祭りは晴天に恵まれますように！打ち上げ花火もできますように♡



【不来方高等学校音楽部コンサート】

7月26日(金)、不来方高等学校音楽部のコンサートを行ないました。何度も日本一に輝いている素晴らしい歌声を間近に聴くことができ、皆さんとても喜んでいました。郷土の詩人・石川啄木の俳句を謳った歌や、桃太郎の歌、さんさ踊りの披露もありました。入居者の手を握り、目と目を合わせて歌う姿も印象的でした。



コンサート終了後は、入所者の皆さんがお部屋に帰るお手伝いをしてくださいました。最後の一人がエレベーターに乗り込むまで、その歌声が止むことはありませんでした。

爽やかな歌声とハツラツとした姿に、沢山の元気を頂きました。

不来方高等学校音楽部様のご活躍をお祈りしています。またいらして下さいね〜！



【不動小学校 交流会】



8月29日(木)、不動小学校4年生の皆さんとの交流会を行ないました。紅葉の歌や校歌などの合唱を披露した後、入居者の皆さんの所へ行き思い思いに交流をしていました。学校で作ってきた名刺を渡しながら自己紹介をし合ったり、手をつないだり、肩もみをしてもらったりと楽しい交流ができました。初めはお互い緊張した様子でしたが、時間が経つにつれ打ち解けていきました。上手に肩もみをしている子がいたので聞いてみると「自分のお母さんやおばあちゃんにも肩もみをやっています」と話していました。もんでもらっている方は「とっても気持ちいいよ！」と嬉しそうに笑っていました。



不動小学校4年生の皆さん、心温まる楽しい時間をありがとうございました。



【研修会 ~医療的ケアについて~】

8月8日(木)、医療的ケアの研修を行ないました。口腔内吸引や、経管栄養の準備等を安全に、かつ衛生的に実施する事が出来るよう資格を持った介護福祉士を対象に年2回実施しています。志和荘でのマニュアルに沿って実施出来るよう練習をします。入所している方が安心して暮らす事が出来る様、知識と技術を磨いていきたいと思ひます。



日常の備えが大事！非常災害対策を学ぶ

8月8日悠和荘の非常災害対策について防火管理者が講師となり勉強会を行いました。災害発生時の情報収集や必要物品の準備から避難開始の時期と判断基準について説明を受け、避難場所や避難方法についても詳細を確認しました。

また、平成25年の大雨状況を踏まえた雨水対策のブロック設置についても話を聞きました。



夏の夕べをご家族と過ごす賑やかな時間

8月23日悠和荘夕涼み会が行われました。

すいか割り、ユニット対抗カラオケ大会を行いました。花火の予定もありましたが雨の為、中止になってしまい残念でした。

悠和荘の花壇で栽培して大きく育ったすいかですいか割り！入居者・ご家族から「甘くて美味しい」と好評でした。また来年も豊作でありますように。



みちえ先生の講師による口腔ケアの研修

9月5日協力歯科医院のみちえ・やなぎさわ歯科のみちえ先生の講師のもと参加した介護職員が口腔ケアについて学びました。

研修では実技の指導もあり、ブラッシング方法や義歯洗浄についても教えて頂き、口腔ケアの大切さをあらためて考える事が出来ました。学んだ事は職員間で周知して取り組んで行きたいと思えます。



礼服姿に表情りりしく敬老会を皆で祝う

9月14日敬老会が行われました。最高齢104歳の女性のほか、今年節目の慶寿を迎えたのは7名の皆さんです。施設からのささやかな記念品贈呈の後は村松様の尺八演奏を堪能し食事会となりました。

尺八の音色はスーッと頭の奥に入り、肩の力を抜いてくれるような感覚でした。穏やかなお祝いの日となりました。



こずかたこども園おともだちお祝い訪問

9月18日こずかたこども園めろん組さんが敬老のお祝いで来荘されました。

かわいい踊りや歌のほか、一緒に手遊びをするなど楽しい時間を過ごしました。子どもたちから「笑顔満点！幸せのだるまさん」をプレゼントしていただき、笑っているだるまさんと同じく入居者もにこにこ。園児のみなさんからパワーをもらいました。



恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。



夏祭り

8月24日、年に一度の一大イベントである恒和荘の夏祭りを東新庄一丁目の地域住民の方々の協力を得て盛大に開催しました。今年初めてとなる雫石桜蓮迦を招いて迫力のある演舞を披露していただき、職員も参加して一緒に踊りました。また毎年恒例の盛岡オーソドックスによるバンド演奏、花垣会によるさんさ踊りは一緒に輪に加わり、さんさを満喫しました。利用者もボランティアの方々の演奏や演舞を楽しみ、大きな拍手を送っていました。今年のゲームは「脳トレなぞなぞ」で、難問ぞろいで近所の方々、利用者も解答に苦勞されているようでしたが大変盛り上がりしました。



～健寿を祝う会～

9月14日、健寿を祝う会を開催し、健康と長寿のお祝いをしました。今年は米寿が3名おり、職員手作りの花束贈呈の後にご家族と一緒に記念撮影も行いました。



余興は恒例の日本民謡協会中央支部の皆様による津軽三味線と唄、踊りがありました。更に今年は、小学生部門の民謡日本一の生徒による唄の披露があり、小学生とは思えないほどの迫力に圧倒され、素晴らしい歌声に感動し、「でもやっぱり可愛いね」と最後は拍手喝采でした。昼食は、職員手作りのバイキング。炊き込みご飯、唐揚げ、なすのみぞれ和え、春雨サラダなど全部で10種類。「どれも美味しいね」「今日だけは食べ過ぎても仕方ないよね」と皆さん笑顔。最後に、「くつ下神経衰弱ゲーム」を行い、勝者は好きなくつ下をもらうことができ、楽しいひと時を過ごしました。



～認知症実践者研修を終えて～

実習対象者の経緯や背景をもとに、まず初めに本人や職員から聞き取りを行いました。認知症利用者が安心して暮らせるには…。意識しながら利用者に関わりを重ねると、「出来ることに着目した支援」や「誰かのためになる活動」が本人の生きがいになっていて、意欲的に取り組むことに気がつきました。また、チームケアの重要性としてそれぞれの職員がフラットな関係を保ち、様々な能力を持って、利用者に向き合うことが大切であると学びました。研修を終えた数日後、「この施設は私に合っているんだと思う。皆さんの対応がいいから。」と話されていました。これからも笑顔が増える愛ある支援に努めたいと思います。(早野)

～盛岡秋祭り山車見学～

9月13日、盛岡秋祭りの前日、山車の練り歩きがあり、運営推進委員の梅村様の紹介もあり、利用者6名と職員3名で新庄観音会館にて山車を間近で見学してきました。目の前を過ぎた少し先でUターンして再び目の前を通る流れで、二度見る事ができ、利用者からも「2回も見れて得した感じだね。やっぱり山車は大きくて凄い」と感激していました。久しぶりに山車を見る利用者もいて、「祭りには行けなくなったけど、昔を思い出して楽しい」と、地域の方とも交流できた1日でした。



～お茶会へどうぞ～

7月27日、岩手民族芸能サークルの大学生6人を迎えて「大森み神楽」という演目の発表では太鼓・笛・鐘の音に合わせ、3人のメンバーの踊りの披露がありました。普段観ることの出来ない踊りということもあり、利用者、近所の方々共に楽しく、新鮮な気持ちで見学しました。気軽に質問にも答えてくださり、学生と明るく楽しく交流することもできました。部長さんから「アットホームな雰囲気です。歓迎していただき、演舞後もたくさんのお褒めの言葉をいただき嬉しい気持ちでいっぱいになりました。」と感想をいただきました。



起震車「そばっち号」がやってくる

9月15日城南小学校に防災指導車「そばっち号」がやってきました。防災指導車とは、最新型の擬似地震起動装置を装備した特殊車両で遠隔地等に移動し、地震の擬似体験ができる車両です。始めに消防士さんから地震が来たとき、身の安全の確保が最優先でその後どのように行動したら良いか色々なケースごとに詳しく解説してもらいました。例えば、旅行先で地震の被害にあった時、旅行者は地震の被害に逢うと避難場所などその土地のことがわからないため災害弱者となります。よって、地元の人を行動をまねして行動するのがよいそうです。次に地震体験です。「そばっち号」は震度2から7までの揺れを体験できます。

消防士さんが震度7の揺れを見本でやっていますが、すごい揺れで何かに掴まっていなくて飛んでいってしまいそうな感じでした。利用者様は震度5を体験しました。感想を聞くと、「震度7に比べたらいいこと無いね。」や「くらくらしました。」などとおっしゃっていました。東日本大震災の時、盛岡は震度5強でした。震度7を体験した事はない訳でその様子を見れたというのはとても良い体験だったと思います。



町内会との交流

去る7月26日、若園町会員交流納涼会に参加させて頂きました。令和元年を迎えても尚、全国各地に地震や水害が発生したり、高齢者による交通事故や小学生への無差別襲撃事件、介護施設における虐待事件など平穏な生活を脅かす事件が後を立たない中、安全、安心、安定した生活を確保し、私たちが安らぎを持ち、地域で暮らしていくと同時に若園町が今後発展していくための方策についての意見交換の場でもありました。

城南小学校の校長先生や、子供会、町内役員の方々の若園町への思い、夢や希望を拝聴しましたが、若園荘ももっと地域に溶け込み、もっと多くの方々に知って欲しいという思いと共に、私たちが地域に何が貢献できるのかを考える機会にもなりました。

7月の子供会の万灯祭の訪問を初め、8月には子供会との夏祭りを開催しました。9月には、納涼会がきっかけとなり、民生児童委員主催の「カレーを食べよう in 若園町ふれあいサロン」に若園荘の玄関駐車場を開放しました。また、認知症カフェ連絡会事務局の代表の方から「認知症カフェを若園荘でも開きたい」との話もあり、是非協力したいと思いますし、今後も立地条件を活かして、利用者様と共に地域の皆様や子供たちとふれあい、交流を広げていきたいと思っています。



長寿を祝う会



若園荘利用者様は90歳以上の方が7名で平均年齢89歳、平均介護度が2.77です。9月16日、今年もお元気で祝う会に参加くださいました。ご家族も驚くほどの食欲でお弁当とデザートを召し上がり、ボランティアの山岸グリーンコール様の歌声に合わせ、元気に合唱くださいました。赤とんぼ、牧場の朝、母さんの歌など10数曲をボランティアの皆様も驚かれるほどの熱気で皆さん歌い上げました。グリーンコール様は全ての歌詞を巻物風にして手書きで絵を入れて歌に合わせて作成くださり、利用者様のやる気を盛り上げてくださいました。それに応えて利用者代表の挨拶も立派でした。また、ご家族からも感謝の言葉を頂き、職員一同も感激しました。心温まる長寿を祝う会でした。皆様ありがとうございました。



介護技術とリスクマネジメント研修に参加して

介護技術を学ぶにあたって大切な事は、利用者のノーマライゼーションの実現である。そのために一人ひとりに合った支援に当たらなければならないということ再認識した。利用者の中には、介助を受けながらも本来なら「自分でなんでもやりたい」と思いながら生活している。そのため、私たち介護士からの支援が自分本位のものになっては何の意味もないということが心に残った。

しかし、現状を考えると手放して支援に力を注ぐ事ができるはいえない。利用者やその家族、職場環境など様々な要素が絡み合ってリスクを生み出している事があるからである。

だからこそ今回の講義を通して、諸要素のリスクを自分たちでマネジメントしていくことが大事なのだと感じる事ができた。具体的には、より自然な状態に近い介護技術の習得は必須であると考えている。セルフマネジメントを怠らない事が、心のゆとりを生み出し、笑顔でサービスを行うことにつながる。このことを忘れずに支援を行っていくことで私たち介護士も利用者も生活をしやすいくなるのだと感じた。(西野)

介護職の死生観について

敬老の日を迎えて、改めて秋の夕暮れにふと浮かんだ死生観という言葉。人の一生は必ず終わりがある。

死は誰にでも必ず訪れる、当たり前のもです。人生最後の過ごし方は、病院でなくなるだけが唯一の道じゃない、高齢者にとって自宅でもある老人ホームでも最後までお看取りしようというのが看取り介護です。若園荘では看取り介護の経験はまだありませんが……。

～ 看取りとは ～

「病人のそばにいて世話をすること、看病すること」です。介護の仕事をしていると、死を怖いこと、ネガティブなこと、いけないことと捉えている職員がまだまだ多いのが実情です。むしろ、この仕事では初めから考えておかなくてはなりません。入居者や家族様の不安に私たちが、「心から寄り添い、人生最後までお供させていただく」そんな気持ちでがんばりたいものです。

敬愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。入所等の相談は気兼ねなく支援相談員までご連絡ください。

サマーコンサート

7月26日食堂ホールにてサマーコンサートが開かれました。不來方高校音楽部の皆さんを招き、懐かしい童謡や歌謡曲など披露していただきました。笑顔で手拍子する方、じっくりと歌声を聴いている方、昔を思い出し懐かしいと涙を流す方などいらっしゃいました。利用者の手を握りながら合唱する場面もあり、すばらしい歌声を間近で聴かせていただき、心に残るひとときとなりました。



夕涼み会



8月27日に夕涼み会が行われました。カキ氷や綿あめ、ジュースの提供を行い、利用者は「おいしい!」「懐かしいね〜」と笑顔で楽しまれました。毎年恒例の職員によるさんさ踊りでは、利用者も「サッコラチヨイワヤッセー!」と大きな声で掛け声をしたり、一緒に手を動かしている方もいらっしゃいました。スイカ割りでは、なかなか割れず大苦戦しながら交代で叩き、無事にスイカを割ることができました。割れた時は「お〜!」と歓声が上がリ、みんなで喜びました。当日外はあいにくの雨となってしまう、屋内での開催となりましたが素敵で楽しい時間を過ごすことができました。

敬老会



9月7日敬老会が開かれました。お祝いにはご家族をはじめ矢巾町長、南昌行政区長、矢巾町民謡保存会会長、民謡歌手の漆原栄美子様が来荘されました。記念品が贈られ長寿をたたえました。その後のアトラクションは矢巾町民謡保存会様と漆原様の祝い歌があり会場は笑顔にあふれました。

誕生会

誕生会では、北高田こども園、北川保育園、シルバーカラオケ教室の皆様が来荘し歌や踊りを披露していただき、利用者とのふれあいもあり皆様楽しんでいました。誕生日を迎えた皆様おめでとうございます。いつまでも元気で過ごしてください。

7月

北高田こども園様



8月

北川保育園様



9月

シルバーカラオケ教室様



医療安全活動への取り組み

医療安全管理者（主任看護師） 植田 朝美

南昌病院では、患者さまに安全で安心な入院生活を送っていただくために、職員が一丸となって医療安全対策に取り組んでいます。

医療安全対策は、医療従事者一人ひとりが、安全に対する高い意識をもち、知識と技術の向上に努めていかなければなりません。しかし、個人の努力だけでは防ぐことはできません。病院の組織として医療安全管理体制を整えて、全員で取り組むことが重要です。

そこで、当南昌病院での取り組みについて紹介したいと思います。

まず、安全管理指針を作成し、それに基づいて次のような活動をしています。

1. 医療安全対策会議と委員会を定期的に開催しています。会議、委員会のメンバーは、すべての職種から選任されていますが、安全管理者をおくことが法律で義務づけられていることから、私とその任に当たっています。
2. 発生したヒヤリハット事例の収集と分析を行い、対策を立て、その対策を各委員を通して全職場に周知徹底し安全に努めています。
3. 毎月、委員会のメンバーで安全管理の実施状況の確認のため1ヶ月に1～2回病院内ラウンドを行い、さらに改善されているか確認のため私が毎月1回全部署をラウンドしています。
4. 知識や技術の向上を目的に研修会を実施しています。実施内容は、全職員研修を1年に2回そのほか新人研修、看護科職員対象の研修を開催しています。
5. 啓蒙活動として医療安全レターを毎月発行しています。

病院で起こる事例の一つに転倒・転落があります。入院による環境の変化や、病気やケガによる体力や運動機能の低下、自分は大丈夫と思う高齢者の心理などによって、どんなにしても転倒してしまうことがあります。入院期間の延長などとなれば患者さまやご家族にとっては問題となってきます。

予防として、綿密なスタッフ間の情報共有や環境対策、患者さま一人ひとりにあった対策をたて転倒転落防止をすることです。入院時には転倒・転落しないための注意点を説明させていただいています。安全で安楽な入院生活を送っていただくために、患者さまとご家族の協力も頂きながら安全に取り組んでいきたいと思っております。

私たちは、質の高い医療や看護をして事例が発生しないように努めていますが、なかなかゼロには出来ません。しかし、ゼロに少しでも近づけるために最善の注意を払って日々安全対策に取り組んでいきます。気になる事や聞きたいことがありましたら、いつでも声をかけて頂きたいと思っております。



Topics

食べ合わせ

私たちは毎日様々な食品を食べていますが、その食品の組み合わせ方次第で体にとってプラスの作用が働いたり、その逆になったりする場合があります。それが「食べ合わせ」。今回はこの食べ合わせについて特集します。

～相乗・相加効果の食べ合わせ～

骨を丈夫にする・骨粗鬆症予防

カルシウム + ビタミンD

- 乳製品 小松菜 煮干し
- きのこ類 海藻類 鮭

カルシウムはビタミンDと一緒に摂ると吸収率が高くなります。

動脈硬化予防

ビタミンB₂ + ビタミンE

- 肉類 納豆 緑黄色野菜
- 植物油 ナッツ類 かぼちゃ

ビタミンB₂は体内で過酸化物質（動脈硬化や老化を進行させる成分）ができるのを抑え、ビタミンEは細胞の老化を抑えます。

風邪予防

ビタミンC + ビタミンA

- みかん いちご 緑黄色野菜
- 緑黄色野菜 乳製品 たまご

ビタミンCは抵抗力をつけ、ビタミンAはウイルスの浸入口である鼻や喉の粘膜を強化します。

疲れにくい体をつくる

ビタミンB₁ + 炭水化物

- 肉類（特に豚肉） 大豆加工品
- ごはん パン 種類

炭水化物（糖質）がエネルギーにかわるのに必要なのがビタミンB₁です。糖質が分解されブドウ糖が燃え残ってできる乳酸が溜まると疲れやすくなりますが、これを分解してくれるのもビタミンB₁です。

貧血予防

鉄 + ビタミンC

- レバー ほうれん草 ひじき
- みかん いちご 緑黄色野菜

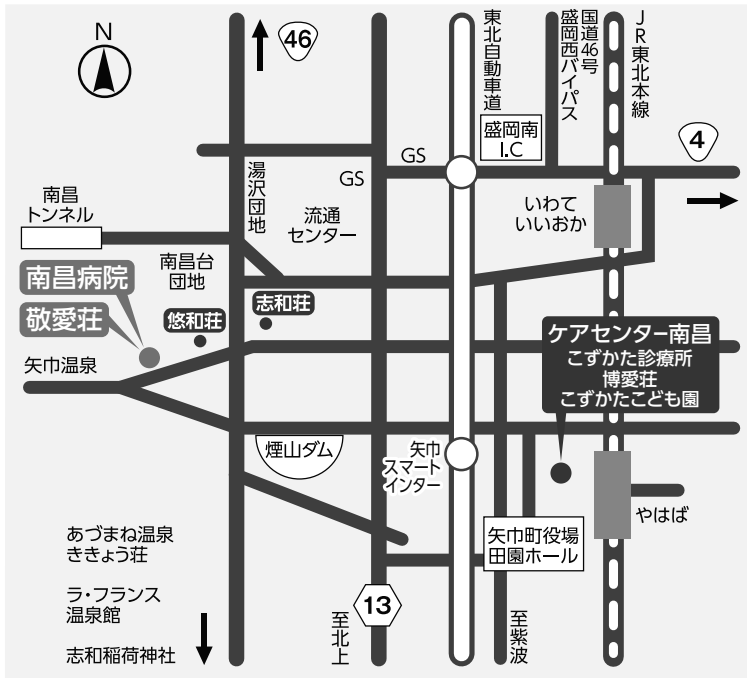
鉄もビタミンCと一緒に摂ることで吸収率がアップ。特に「非ヘム鉄」という野菜や海藻類に含まれる鉄は吸収されにくいので、ビタミンCと一緒に摂るのがおすすめ。

他にも「納豆+ねぎ」や「唐揚げ+レモン」など、普段何気なく組み合わせているものにも消化吸収の促進、吸収率アップなどの効果があります。

ただおいしくなるだけの組み合わせじゃないんですね！これからのお食事に役立ててみてください。



矢巾町エリア



盛岡市エリア



南昌病院診療案内

診療時間 / 9:15~17:00

| | | |
|---|----------------|----------------|
| 月 | 神経内科 | 佐藤 典子 |
| 火 | 内科 | 小原 進 |
| 水 | 脳神経外科 循環器内科 | 山口 一彦 西城 精一 |
| 木 | 脳神経外科 | 齊木 巖 |
| 金 | 脳神経外科 | 齊木 巖 |

こずかた診療所診療案内

診療時間 / 9:00~17:30 (火曜日 19:00まで)

| | | |
|---------|------|---------------|
| 月~金 | 内科 | 三浦 秀悦 |
| 月・火(午前) | 内科 | 足澤 輝夫 |
| 木(午前) | 内科 | 市川 隆 |
| 金 | 神経内科 | 米澤 久司 / 高橋 純子 |

休診日: 土曜・日曜・祝日

編集後記

◆南昌だより36号と37号で紹介しました「シルバーリハビリ体操」3級指導者養成講習会が開催され、今回43名の方が無事に6日間30時間の講習を修了し認定を受けることができました。3級養成講習会の学習目標は、「超高齢社会における介護予防の現状とシルバーリハビリ体操による介護予防事業と必要性を理解する。」「解剖運動学、各種体操の実施方法や目的、注意点などを学習し、運動学、障害学に基づいたシルバーリハビリ体操について、理解する。」とあります。高齢者の方が、尊厳を持って住み慣れた地域で、地域の皆さんと一緒に暮らせるよう自立を支援する地域での実施者となるべく、自ら希望して受講された方々です。講習会を見学させていただいて、活発に質問等をしている受講者の皆様に敬意を感じました。地域活動で経験を積み、2級、1級指導者となられる方も少なく無いだろうと感じたところです。

◆10月1日からの消費税が10%になることもあり、キャッシュレス決済の利用者が広がっている。70歳以上の方の電子マネーの平均利用額は直近5年間で87%増え、伸び率は全世代の平均58%を上回っているとのこと、幅広い年代で積極的に利用されはじめたことが伺われる。アナログな私も、積極的に取り入れていきたいと考えています。

| | | | | |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|------------------|
| 医療法人社団 帰厚堂 | ■南昌病院 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181 | TEL 019-697-5211 | FAX 019-697-5215 |
| | ■介護老人保健施設 敬愛荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181 | TEL 019-697-3288 | FAX 019-697-0641 |
| | ■小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘 | 〒020-0805 盛岡市東新庄1丁目7-23 | TEL 019-681-4166 | FAX 019-604-1120 |
| | ■グループホーム 若園荘 | 〒020-0886 盛岡市若園町8-11 | TEL 019-601-5501 | FAX 019-604-1660 |
| | ■ケアセンター南昌 | 〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵衛新田5-335 | TEL 019-698-2015 | FAX 019-611-2071 |
| | ◆こずかた診療所 | 〃 | TEL 019-698-3033 | FAX 〃 |
| | ○訪問リハビリテーションこずかた | 〃 | TEL 019-611-1380 | FAX 〃 |
| | ◆介護老人保健施設 博愛荘 | 〃 | TEL 019-698-2015 | FAX 〃 ※ |
| | ◆博愛荘デイケアセンター | 〃 | TEL 019-697-1526 | FAX 〃 |
| | ◆デイサービスつむぎ | 〃 | TEL 019-698-2015 | FAX 〃 ※ |
| | ◆訪問看護ステーションやはば | 〃 | TEL 019-698-1388 | FAX 〃 |
| | ◆ヘルパーステーションやはば | 〃 | TEL 019-698-1385 | FAX 〃 |
| | ◆訪問入浴介護やはば | 〃 | TEL 019-698-1385 | FAX 〃 |
| | ◆やはば指定居宅支援事業所 | 〃 | TEL 019-697-0537 | FAX 〃 |
| 社会福祉法人 敬愛会 | ◆ショートステイやはば | 〃 | TEL 019-698-2015 | FAX 〃 ※ |
| | ◆グループホーム 敬寿荘 | 〃 | TEL 019-697-9002 | FAX 〃 |
| | ▲こずかたこども園 | 〃 | TEL 019-698-3008 | FAX 019-611-0221 |
| | ▲矢巾町地域包括支援センター | 〃 | TEL 019-611-2855 | FAX 019-611-2937 |
| | ●特別養護老人ホーム 志和荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100 | TEL 019-697-6355 | FAX 019-697-6356 |
| ●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312 | TEL 019-698-1661 | FAX 019-698-1671 | |
| ●指定居宅介護支援事業所 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312 | TEL 019-697-0880 | FAX 019-698-1671 | |
| ●矢巾町地域包括支援センター | 〃 | 〃 | 〃 | |
| さわやかハウス相談室 | 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78 | TEL 019-697-5570 | FAX 019-697-5570 | |

※ケアセンター南昌代表電話